Chemical Innovator for Crop & Life

Nichino Group –
Growing Global
世界で戦える優良企業へ

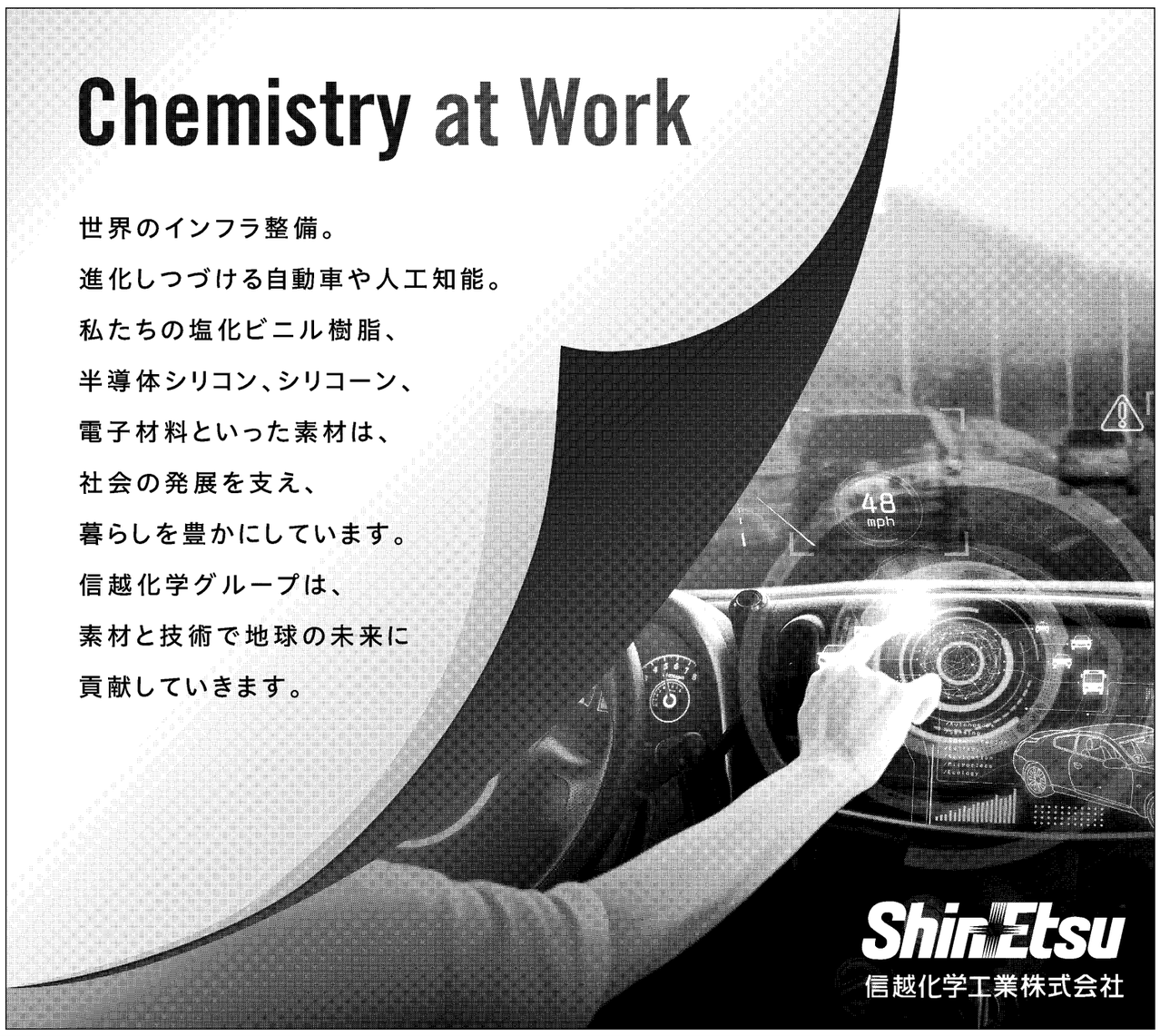
私たちは研究開発型企業として「農薬」という有用な農業資材を提供し続けています。
創業以来培われたノウハウと最先端の技術により、高品質の製品やサービスを数多く世に送り出してきました。
そして、当社グループは世界の食と農業へのさらなる貢献のため、グローバルカンパニーを目指した新たな「挑戦」を始めます。

〒104-8386 東京都中央区京橋1-19-8
TEL.03-6361-1400(代) FAX.03-6361-1450
URL http://www.nichino.co.jp/

日本農薬株式会社
NIHON NOHYAKU CO.,LTD.

Chemistry at Work

世界のインフラ整備。
進化しつづける自動車や人工知能。
私たちの塩化ビニル樹脂、
半導体シリコン、シリコーン、
電子材料といった素材は、
社会の発展を支え、
暮らしを豊かにしています。
信越化学グループは、
素材と技術で地球の未来に
貢献していきます。



ShinEtsu
信越化学工業株式会社

日本の強み生かし ヘルスケア市場に照準

ライフサイエンス

化学業界にとってライフサイエンス分野は成長戦略の中核だ。人口増大による食料不足は世界規模の重要課題であり、その解決につながる農薬需要は今後も伸びる。また、アジアなど新興国の経済発展でヘルスケア関連用品の市場拡大も確実だ。日本の強みを生かして世界の〝健康〟需要を取り込みたい。

世界の健康需要取り込む

農薬・ドローン技術融合

新規殺菌剤

国内農薬最大手の住友化学は欧州連合（EU）で新規殺菌剤「インピルフルキサム」の農薬登録申請を行った。独自に発明した有効成分で、欧州地域におけるコムギ赤さび病やオオムギ網斑病、バレイショ黒あざ病などへの高い効果を確認済みという。新規殺菌剤を含む製品の市場投入は規制当局承認後の2023年以降を見込む。

次世代農業に照準

また、次世代農業技術への対応にも力を入れる。農業用飛行ロボット（ドローン）ベンチャーのナイルワークス（東京都渋谷区）へ出資を拡大した。狙いは住友化学の農業技術などとナイルワークスの先進技術を融合させて、農業の大幅な省力化・効率化と農作物の収量・品質向上につなげる。農業経営を総合的に支援する「トータル・ソリューション・プロバイダー」型ビジネスを加速させる重要戦略の一環だ。

ナイルワークスは増資で量産体制を整え、新型ドローン「Nile-T19」を6月に発売、計100機の販売を目指す。ナイルワークスの増資は17年10月に続き2回目。今回の増資後もナイルワークスの柳下洋社長ら経営陣が出資比率の5割以上を維持する。

水稲栽培に威力

18年に創立90周年の節目を迎えた日本農薬。戦略商品の新規殺虫剤「オーケストラフロアブル（一般名・ベンズピリモキサン）」がインドと日本での農薬登録申請を完了した。同殺虫剤は従来品と異なる昆虫成長制御作用と優れた防除効果を有し、水稲栽培への被害が大きいウンカ・ヨコバイ類を主な対象とする。

インドは23年に、日本では21年に同殺虫剤の販売を始める予定。発売後5年以内にインドで60億円、日本で10億円以上の売上高を目指す。加えて、東南アジアなどでの登録取得も検討しているほか、単剤以外に他の殺虫剤や殺菌剤との混合剤の開発を進める。

バイオ医薬周辺に進出

米社に出資

東ソーは米国バイオベンチャーのセンバ・バイオサイエンシズ（ウィスコンシン州マディソン）に出資した。18年11月に第三者割当増資を引き受けて、東ソーグループで33・3％を出資。出資金額は約3億円。

センバはバイオ医薬品製造用のクロマトグラフィー装置などを手がけ、低コストな連続生産技術が強みだ。従業員は約10人で、売り上げ規模は約1億300万円。

東ソーはバイオ医薬品の精製に使う分離剤などバイオサイエンス事業を拡充するため、米社の製品・技術を取り込んで周辺領域へ進出を図る。

脱酸素剤で省資源化技術

製品 小型化

三菱ガス化学は骨粗しょう症などの治療に使う抗体医薬「デノスマブ」のバイオシミラーを生産する細胞の大量培養に成功した。培養条件を確立したことで、安価で高品質な抗体医薬の原薬を大量生産できる可能性がある。今後はバイオシミラー製品化に興味がある製薬会社との共同開発を目指す。

また、三菱ガス化学は食品の酸化などを防ぐ脱酸素剤「エージレス」で省資源化技術を開発した。主原料の鉄粉をより効率的に酸素と反応させる加工を施して製品の小型化を図り、顧客への配送効率化や最終的なゴミ削減につなげる。タイ工場に同技術を導入して、19年度上期に新製品の市場投入を目指す。

同社はエージレスの小袋に入れる鉄粉の反応を従来と比べて効率化できる特殊加工技術を確立した。これにより袋当たりの鉄粉使用量を現状と比べて減らせるため、製品全体をより小さくできる。加えて、原材料費が近年上昇するなかで、製品価格を維持する〝切り札〟とも位置づける。

エージレスのマザー工場であるQOLイノベーションセンター白河（福島県白河市）で開発のめどが付いたため、タイ東部・チョンブリ県に構える工場への新技術導入を決めた。タイ工場は主に汎用品を製造する。

脱酸素剤は鉄粉などの入った小袋が酸素を吸収することで、菓子や畜産加工品、餅など食品の酸化を抑える仕組みだ。製品形状は小袋のほかに、包装フィルムやボトルをそろえる。

ナイルワークスの農業ドローン「Nile-T19」

いつも好奇心を
IMAGINE

好奇心はメルクのDNAです。
ドイツ　ダルムシュタットで1668年に創業して以来
サイエンスとテクノロジーの領域でイノベーションを探求してきました。
長い歴史を土台に未来を見据え
私たちはこれからも人々のより良い暮らしのために
研究者やメーカーなど幅広いお客様に貢献する会社であり続けます。
いつも好奇心を！

www.merckgroup.com/jp-ja

MERCK

KUREHA

ナケレバ、ツクレバ。
夢がなければ→つくればいい。希望がなければ→つくればいい。元気がなければ→つくればいい。
コドモの頃を思い出そう。無敵のヒーローだって、タイムマシンだって、自分のアタマで、素敵につくりだしてたよね。
今ないものを思い描く「発想力」が、クレハの強み。それをカタチにする「技術力」が、クレハの誇り。ナケレバ、ツクレバ。どこにもない今日を、想像もつかない明日を、どんどんつくれば→未来がもっと好きになる（と、いいね）。

株式会社クレハ 〒103-8552 東京都中央区日本橋浜町3-3-2